

知事の地域訪問各界各層の道民等との懇談 懇談録
(豊富町地域懇談会)

日時：平成26年2月8日(土) 14:30~14:50

場所：豊富町役場2階議員会議室

出席者：

【相手側】

吉田道議・三好道議・

豊富町工藤町長・豊富町川原副町長

豊富町商工会女性部長木下よし子

J A北宗谷女性部豊富支部長 佐藤信子

農村生活文化伝承を進める会副代表 長尾きよ子

【道側】

高橋知事・紺谷地域づくり支援局長・小野寺宗谷総合振興局長

(小野寺局長)

本日はお忙しいところお集まりいただきましてありがとうございます。ただ今から、豊富町地域懇談会を始めさせていただきます。

私、進行を務めます宗谷総合振興局長の小野寺でございます。よろしくお願いします。

初めに高橋知事から一言ご挨拶いただきます。

(知事)

皆さん、こんにちは。今日は土曜日お休みの日であるにもかかわらず、町長さんにもご無理言いまして、役場のこの場所もお借りをして町内でさまざまな形で地域づくりに努力をしてらっしゃる方々との懇談の機会ができましたこと、大変うれしく思っております。

宗谷管内も何回も訪問させていただいているんですが、冬場というのは初めてでございます。冬場の宗谷の、豊富の美しさ、すばらしさもぜひ実感したいと体験したいと思ったのですが、やはり、冬場、皆様方の生活の上での大変なご苦労もおありになるのも事実でございます。そういったことも私自身、自ら、体験させていただいて、今後の道政に活かしていければなという思いでこの時期をあえて選ばせていただいたところであります。

限られた時間でございますが、よろしくお願いいたします。

(小野寺局長)

本日は、豊富町でご活躍なされております3名の方々にお越しいただいております。私からご紹介いたします。私の方から向かって右側から、豊富町商工会女性部長木下よし子様、J A北宗谷女性部豊富支部長の佐藤信子様、次に、農村生活文化伝承を進める会副代表の長尾きよ子様です。

続きまして、道側の出席者を紹介いたします。総合政策部地域づくり支援局の紺谷局長です。

また、地元選出の道議会議員のお二方にもご臨席いただいております。吉田正人議員、三好雅議員です。

それでは早速ですが、ご出席の方々から日頃の活動について、自己紹介もかねて一言ずつお話しただければと思います。初めに木下さんお願いします。

(木下部長)

商工会女性部は、今、60名ちょっと切ったところで、少し何名かなくなっているんですが、今、意外に長く続いている活動の一つなんです。きっかけは、レジ袋をなくして環境を考えてエコについてということいろいろ考えて、エコバックというものを作り始めたんですね。今日、これを持ってきたんですが、お買い物とかに使っていただくという感じで。そういうエコの考え方からいろんなことを考え始めまして、豊富は牛、農家さんの子牛さんのベストを作ろうかという話にまでふくらんで、みんなで毛布とか集めて、たまたまなんです。見本で作ったのがこれです。毛布もくるむものも、全部再生利用して作ることを、買った高いものなので、お安くできるように、今、一生懸命取り組んでいます。ある時しか作れないので、なかなか軌道には乗らないんですけども、今一番、他よりエコに関して取り組んでいます。使えそうなものを何とか利用していきましようという運動に取り組んでいます。

(小野寺局長)

続きまして、佐藤さんお願いします。

(佐藤支部長)

現在、豊富農協女性部は人数59名ほどおります。その中で3部制を作っております、3部制でそれぞれ活動は違うんですけど、春には皆さんで視察旅行に行ったりとか、研修会を開いたりしており、夏には、豊富農協さんの酪農まつりに参加して、一緒に盛り上げたりとか、秋には、交流会や、料理をしたり、スポーツをしたり、いろいろ懇親を深めたりしています。冬には、豊富町で毎年行われている歳末チャリティーショーというのがあり、それに参加するなど活動させていただいております。

なかなか、酪農家さんに嫁いでくるお嫁さんがいなくて、部員数が少ないんですけど、お嫁さんが来れば、活動も活発になるんじゃないかなと思っているんですが、こればかりはなかなかお嫁さんに来てもらえなくて、今、悩んでいるんですけども、主なものとしてこのような活動を行っております。

(小野寺局長)

ありがとうございました。最後に長尾さんお願いします。

(長尾副代表)

私達の農村生活文化伝承を進める会、すごい長い名称なんですけれど、これは昭和60年代から高齢者グループとして、高齢者の方達が進めてきたのを代も変わりまして私達が今活動しています。

年代的には、82~3歳の方から50代までの幅広い年代で活動しています。その活動の中で、80代の方も50代の方も伝承の会に出て来たときには、同じ目的を持って活動していますので、年の差は感じないんです。名前も下の名前、親子ほど年の違う方もいるんですけど、皆、下の名前で呼び合って、違和感なく進めております。

ただ、今、若い方にちょっと入っていただきたくて声をかけても足踏みしているような状態なので、一緒にやっていただかなければ、この会の意味がなくなるので、今、若い方に声をかけながら進めています。

そして、皆さんが酪農家なので、やはり酪農を一つの筋として、牛乳を使った、昔から食べてました牛乳豆腐とか、そういうものでも今様にアレンジしながら幼稚園の子供さんとか小学生とかお声がかかれば伝承の会で出向いては、皆さんにいろんなことをお伝えしていく役目をしています。

私達それなりに年を重ねていきますけど、今、私達の年代が一番いる年代ですよ。これからだんだん皆さん若い方のお世話にならなきゃならないという風になってきますので、やはり、年を重ねても何かに向かって元気に活動できるっていうことが、私達もいいし、これからを背負ってくれる若い人達にも、年寄りが元気で困るっていうのは今の言葉じゃないんじゃないかなと思うようになったんですね。それで、私も65を越えてから自分の心を入れ替えて、今私達にできることは何かなのをを考えながら、幼稚園に出向いても、幼稚園の子供さんって、今、核家族なんで、おばあちゃんでもなついてくれるんですね。私達も出向いて行って、おかあさんとも交流あり、子供さんとも交流があるということは、自分達もそのエネルギーをまたもらって、今のこの活動を進めていけるのかなって思っています。そしてそれにはやはりいろんな見聞を広げていきたいんです。

伝承の会でもイタドリを主にやっています。今日作って持ってきましたので試食してみてください。そして、皆さんの前にあるBABAちっちムースなんですけど、これも伝承の会でちゃんと乳製品を作る工房も自分達で用意してありまして、イベントの時にはそこで作りますけれど、今日は工房まで行けないので、自分で作ってきましたので。牛乳もこういう風にして使えるんですよということで今日持ってきましたので、試食してみてください。

(小野寺局長)

ありがとうございました。これからはフリートキングということで進めさせていただきたいと思っております。

(工藤町長)

先ほど見ていただいた定住支援センターを含めて、まちづくりということで、今手がけたり、終わったたり、計画中のものがあります。特にこれからは豊富小学校の改築計画がありまして、振興局さんに大変ご尽力いただいておりますし、また、道議の先生方にもご尽力いただいておりますが、地場産材を使って、木造の豊富小学校の改築計画を進めようということに今ご指導いただいております。

(知事)

木下さん、佐藤さん、長尾さん、それぞれありがとうございます。豊富というとやっぱり酪農の町でありますんで、商工会の方から、牛のデザインのものを見せていただき、豊富町らしいなと思ってはいますけれども、エコっていうのは21世紀になって全道あげて、日本国民あげていろいろやっているけれども、やっぱり宗谷の地域って太平洋側と日本海側でも違いますけれども、とりわけ自然が豊かな所だし、エコの活動は重要だと思うんですよね。

最近、中頓別の(町の話で)村上春樹さんが「ポイ捨て」と書いてけしからんという話。町議の人達が、環境をどの地域よりも大切にしている中頓別でそんなことあり得ないと抗議して、書き換えになるようなことから見てわかるように、やっぱり宗谷全体として、地域の皆さん方にとってエコっていう、特に女性の方々がそういう声をあげていただくのはうれしいですね。

私は自分でそんなにスーパーに行くことはないんですけども、北海道の観光のキャラクターのきゅんちゃんってあるんです。きゅんちゃんのマークが入っているエコバックを持っています。

佐藤さんは女性部の立場から、いろいろなご活動を1年中しておられて、お嫁さん不足が大変深刻だと。これは地域どこもそうなんですよね。佐藤さんは地元の方ですか？

(佐藤支部長)

私は豊富地元です。

(知事)

59人おられる中で、地元からの方と町外から来られた方ってどれぐらいの割合ですか。

(佐藤支部長)

そうですね。59名の中で1割くらい道外からお嫁に来ている人がいますね。こちらのほうで酪農体験して、そのまま嫁いだという人もいますし、紹介で来ている人もいますし、それでも最近ではなかなかお嫁さんが来てくれない。

若い男性は結構いるんですけどね。農家さんの後継者として若い男性はたくさんいるんですけども、なかなか出会いの場がないのか、巡り合わせがないのかわからないですけども。

(知事)

役場で結構マッチング事業みたいのやっているところもありますよね。

(吉田道議)

まちコンですね。

(工藤町長)

対策協議会でやっているんですけども、なかなか実績としてあがってこないんで、先ほど佐藤さん言われたように、道外出身の方で「たんぼぼの会」という会を作って30年くらい、本州、東京だとかいろんな所から集まって情報交換をしている。そこを中心にしながら若い方々の花嫁対策をどうするかということをやってきて、今、知事が入って来られた玄関のホールの横に牛がいて、牧場風景をミニチュアで再現しているんですけども、その牛のミニチュアの所に農村花嫁募集中というものを掛けさせてもらったりしているんですよ。

いろいろなイベントも含めながら、やはり、研修支援センターの大事さというのがそこにありまして、いろんな方が、若者が交流できる、そういう交流の場をやはり作っていくことが必要だろうということで、北海道さんのご支援をいただいて、多機能で集まれるという施設造りをさせていただいて、今、若者がああいう形で集まって交流できるという機会を少しずつ発展させていこうということを考えているところです。

(知事)

牛乳はおいしいですね。本当にいい所なんですけれどね。冬場はやっぱり雪とか気候の関係でいろんな活動は、商工会さんの方は制約されると思うんですけども。

(木下部長)

そうですね。やっぱり外のイベントとか夏場に集中しているんで、冬はみんなで集まってこつこつ分担してやったりとかしているんですけど、あとはエコっていうことをどうやったら女性部の中以外の人に、一緒に作るとか考えるとか、もっと違う方向でエコを考えるとかというのを広めるというかそういうことを、どうやったらできるんだろうということは話したりしているんですけど、今の所は部の中だけの活動です。

(知事)

長尾さんは、さっきもお話ございましたけれども、かつて、JAの女性部の部長さんの立場でJAの方々、青年部と女性部の方々が毎年秋の収穫の時期に道庁に各地から来られて、幹部の方々、会長・副会長さんくらいで収穫物をお届けいただいて、その時いらっしやっていたいただいて、やはりこの山菜をいただいたことがございまして、JA女性部の指導的なお立場におありになって、一方で農村生活文化伝承ということをやっておられるということで、こういう農村生活文化伝承っていうのは豊富町以外の各町村でも展開されているものなんでしょうか。

(工藤町長)

歴史的には、先ほど長尾さん言われたように、大先輩の方が自分たちの生活の体験を伝承することが希薄になってくるということで、その体験を含めて、また昔のいろんな生活の知恵がなかなか伝達されていかないということで、その方々、恐らく有志の方々が立ち上げた会だと思っすよね。ですから、恐らく、それが、系統的に組織されたものではなくて、有志の方々のそういう意志に基づいて組織された組織だと思いますので、それが道内的にどうかと言われると、別の形で残っている所はあると思っすけれども、あまりこういう形で残っている所はないのではないかなと思っす。

(知事)

要するにJAの女性部OBの方々がメンバーなんですか、それとも商工会の方々ですか。

(長尾副代表)

いえ、違います。それとは全然別にやっています。

(知事)

じゃあ、ご主人が役場に勤めておられる方とか、お医者さんやっている方とか。

(長尾副代表)

農村に限っています。

(工藤町長)

混在しているんですけども、お年寄りの大先輩が入っていたりということでずっと続けてきたんですよね。基本、やはり農村なものですから、農家の方々が中心になった、そういう会なんです。

(長尾副代表)

本来でしたら、まちの方も一緒に活動できれば、これは一番ベストかもしれませんが、でも、私達の時間帯とまちの人の時間帯が集まるにも合わないんですよね。

(知事)

まちで働いている人は昼は無理で夜以降になっちゃって、皆さん方は昼活動したいし。

(長尾副代表)

そうなんです。やっぱり、朝お仕事して、空いた時にちょっとの時間でもみんなで集まって何かしましょうかと。また、夕方は仕事あるっていうふうになるので、本来でしたら、一緒にやれば一番いいんですが、今、商工会の木下さんがおっしゃっていたように、自分達だけではなくて幅の広い活動ができると思っすよね。

やはり、今のところ、時間帯の問題もありますので、農村に限られてしまうんですよね。

(知事)

商工会の女性部の方々は昼忙しいですよね。

(木下部長)

はい。そうですね。今までも女の人達の横のつながりと、若い男の人達、青年の人達のつながりもあったんですが、やっぱり時間帯の違いでなかなか一つのことができないということがありました。

(長尾副代表)

一番の悩みですよね。

(川原副町長)

我々管内で集会をやる時も、フェリーの時間と農家の方の時間と合わせると、必ず昼しかできないんです。夜の会合はほとんどしないんです。集会は昼11時とか12時からとかそれくらいから。

(吉田道議)

ちなみに昨日の夜の酪農家の方との懇談会も、夜の7時半以降ですから。搾乳終わってからでないと。

(知事)

やっぱり酪農地帯の、政治家の方々のご苦労ですね。

(吉田道議)

でもやっぱり生き物を扱っている方というのは一番大変だと思いますね。生き物は待ってくれないですから。

(小野寺局長)

なかなかお話も尽きませんけれども、お時間が限られておりますので、この辺で締めさせていただきます。知事最後に一言お願いします。

(知事)

これからもそれぞれいろんな制約のある時間も含めて、ぜひそれぞれの今のご活動を続けていただければと思います。またどこかでお会いできること楽しみにしております。ありがとうございます。

(小野寺局長)

これで、懇談会終了させていただきます。ありがとうございました。